

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	豊野高等専修学校(専門課程)
設置者名	学校法人豊野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、デュプロマポリシーの3ポリシーの公開で本校の求める人材やカリキュラム等を明確化し、到達目標、学習目標・教育目標を達成するために身につけるべき内容、授業の方法及び内容、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成している。 ・シラバスの作成に関して、令和4年度からカリキュラム編成委員会(外部企業参加)を立ち上げ、年2回の開催により、企業視点でのシラバスのあり方について意見をいただきよりよいカリキュラム作成に生かしている。 ・シラバスの作成過程として、カリキュラムポリシーに則り毎年度上記委員会の意見を参考にしつつ、後期2月末に今年度のシラバス内容について点検し、次年度に向けたカリキュラムを各教員が作成・収集し、学習目標・到達目標を達成するのに必要な内容であるかを確認する。3月末にシラバスを公表する。	
授業計画書の公表方法	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・本校では、評価項目に関する到達レベルを「ルーブリック評価」により、評価を実施している。卒業研究や学園祭でのプレゼンテーション(ファッションショーやコンテスト)への取り組み、制作物課題の完成度等を成績評価に取り入れている。 - また、学習に対する準備の状況や意欲・態度も評価の項目として取り入れている。 ・制作物(作品)の記録とそれにとまなう学修ポートフォリオを作成し、自己評価も交えて、取り組みの意欲の評価としている。あらかじめ設定した成績評価の方法・基準を学生に知らせることにより、厳格かつ適正に単位授与・履修認定し、認定基準を満たした学生に対して、専門士の称号を授与している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【GPA算定式】

◆成績の評価方法とGP(グレードポイント)

評価	評価点	GP	可否
A(優)	80点以上	4点	合格
B(良)	70～79点	3点	合格
C(可)	60～69点	2点	合格
D(不可)	59点以下と履修放棄	0点	不合格

グレードポイントから下記式で判定しそれぞれの適切な成績評価を実施する。

$$GPA = \frac{(4.0 \times A \text{ の修得単位数} + 3.0 \times B \text{ の修得単位数} + 2.0 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{総履修単位数}}$$

上記の設定した算定式により、GPA等の数値を算出して学生の学修状況を掌握している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
----------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校の教育方針に基づき、「人格形成とともに、専門的知識や技能の習得・資格取得など、地域社会の発展のためにその力を発揮でき、自分の目標に向かって、創造・工夫努力を惜しまない人になること」を最終目標とします。厳格な成績評価を行い、所定の単位を習得した学生に卒業を認定し、専門士の称号を授与します。

■服飾デザインコース

- 優れた知識・技能者として豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有している。
- リーダーシップやフォロアーシップを組織の中で発揮できる。
- ファッション造形・和裁の専門的ニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有している。
- ファッション造形・和裁の専門士としての知識・技術・態度を身につけている。
- 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。

■情報デザインコース

- 優れた知識・技能者として豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有している。
- リーダーシップやフォロアーシップを組織の中で発揮できる。
- 情報処理の専門的ニーズに柔軟に対応でき、地域・社会に貢献できる能力を有している。
- 情報処理の専門士としての知識・技能・態度を身につけている。
- 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有している。

以上のデュプロマポリシーに則り卒業の認定に関する方針や学生の修得単位をふまえ、卒業を認定している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校ホームページ http://toyonosenshu.ed.jp
----------------------	--